

団体名	NPO法人アピラ		
事業名	看護師の最上UIJターン促進事業		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題部門：最上地域における看護師の確保】		
団体の 所在市町村	新庄市	事業費	81,702 円
		うち助成金額	20,897 円

■事業目的

山形県では最上地域における深刻な看護師の人員不足に対し、これまでさまざまなソフト事業を実施してきました。しかし、最上地域の看護師不足は山形県他地域と比較すると、まだまだ改善する必要があり、多角的なアプローチを実施することで、現在の看護師確保の推進事業がさらに加速します。そして、それは最上地域の地域づくり、地域を支える医療・介護業界への貢献を目的としたものです。

■実施内容

①最上地域高校への

アンケート

最上地域7つの高等学校へ、最近の看護学校へ進学傾向・今後の推進活動への要望などを調査した。

実施期間：令和2年12月

②20歳代看護師への

アンケート

県内・県外で看護師として従事する方々へ、看護学校への進学理由・就職地域の選択理由などを調査した。

実施期間：令和3年1月

対象者：19名・回答者：11名

③UIJターン看護師

インタビュー

最上地域においてUIJターンされた看護師の方々へ、最上

地域で勤務するメリット・デメリットなどを調査した。

実施期間：令和3年1月～2月
実施人数：4名

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

○最上地域高校へのアンケートを実施し、看護師への道を選択する人材は減っていないことがわかった。ただ、看護師になりたい子たちがいるにも関わらず、看護学校へ進学できない、もしくは県外看護学校へ進学している現状は学力が少なからず影響している可能性があることがわかった。
○県内・県外で看護師に従事している20歳代の方々へアンケートを実施し、県内で従事しているメリットとして、生活環境などの安心感、結婚後の子育て環境などが大きい。ただ、都会志向・また進学した看護学校の奨学金等の影響で、関東圏にとどまる傾向も強いことがわかった。また進学した看護学校の選択は、学力によるものが大きいこともわかった。

○実際にUIJターンした看護師の方々に話をきいて、デメリットは最上地域の天候（雪）、商業施設の不足以外はなく、地元に戻ってきたい方は潜在的に多いと推測できる。また、

従事する看護の内容に関しては、決して先進的な医療を求めず、最上地域の地域医療を認識したうえで従事している印象が強かった。待遇面もさほど影響していない可能性があるため、田舎志向の強い方、県内出身で都会で従事している方々へのアプローチ次第では、可能性を感じる話が聞けた。

②今後の展望

今回、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、関東圏への看護学校・看護師へのアプローチが実現できなかったが、来年度以降、実際にUIJターン推進を実施していくことへの可能性を見出せる今年度の内容となった。

ただ、今後看護学校への進学者をより推進していくには、基本的には最上地域の地域医療をしっかりと周知させる内容や、看護学校へ進学するための勉強の必要性も明確に伝達する必要があることを強く感じた。

来年度以降は、実際に関東圏で従事する看護師のインターンシップ実現や、関東圏からの移住希望者への情報発信手段など、さまざまな展開を実施していくことを考えている。